

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



坐禪で心を静め、庭で心を解き放つ
禪の境地に遊ぶ。

言葉がすべての
西洋文明に対して
言葉以前の世界に
もう一度戻ろうと
すること。
それが禪だと思っ
ています。

- 人生訓の求めるな。真実は目の前にある。
何も求めなくても得られる。
- ① 日常茶飯の中こそ真実がある。
 - ② 道と同じくする友を持つ。
 - ③ 今真実の自己は自然そのもの。
 - ④ 技に頼るな。心こそ大事。
 - ⑤ 形に捉われるな。完全でなくていい。

① 本心に「分かって」いますか。
② 「分かる」教える「ほど」で
もない。
③ いつも心に自然を持って。
④ 求めるな。真実は目の前にある。
鎌倉時代から悩める時代入まで
昔も今も日本人の心の拠りどころ
コロナ禍のなかで、みなさま
我慢して今日まできたね！
「ほめる力」と言う言葉の意義
が小学校に於て4年生に育った
らさことがわかって思っています。

福田寺の坐禅は西山保育園で
毎年実施しております。

